**沢の池**

後楽園最大の池である沢ノ池は庭園の中央にあり、池には中の島、御野島、砂利島の3つの島が浮かんでいます。

池の東側にある中の島には島茶屋があり、小さな橋を渡って行くことができます。大名の池田綱政（1638～1714）の時代には、中の島に弁財天堂と呼ばれるお堂がありましたが、息子の継政（1702～1776）の時代に現在の場所、千入の森の前に移されました。

御野島には吹放ちの釣殿があり、最も小さい島である砂利島は白砂と松の木で覆われています。中の島と御野島の間にある2本の石標は、かつての上道郡と御野郡の郡境を示すものです。この2つの郡はかつて存在した岡山県の行政区画です。